

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 630401	市町村栄養改善事業				主管課名	健康推進課				
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち				課長名	加納 公明				
		施策	効率的で安定的な農業を育むまち									
		基本事業	食育の推進									
	(1)事業の概要											
	地域で食生活改善活動を行う食生活改善推進員を養成する。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)						
						名 称		単 位				
						食生活改善推進員養成教室開催回数		回				
						受講者のべ人数		人				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		広報で、健康と食生活の改善に関心があり、ボランティアで食生活改善推進員活動ができる人を募集し、養成教室を開催する。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	隔年実施のため、平成24年度は養成教室を実施しない。									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)							
健康と食生活の改善に関心のある市民					名 称		単 位					
					食生活改善推進員養成教室受講希望者		人					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)							
地域で食生活改善を行う食生活改善推進員になってもらう					名 称		単 位					
					食生活改善推進員養成教室修了者		人					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)							
食の大切さを知り、食を通じた人づくり、健康づくり、環境づくりを推進する					名 称		単 位					
					食育の普及に関する事業活動数		事業					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		回	0	12	0	12	0	12				
		人	0	165	0	200	0	200				
(6)の対象指標		人	0	18	0	20	0	20				
(7)の成果指標		人	0	17	0	20	0	20				
(8)の結果の成果指標		事業	136	136	136	136	136	136				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	237	369	144	427	142	427				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	38	0	37	0	0				
	一般財源	千円	237	331	144	390	142	427				
人件費B		千円	691	1,038	704	917	704	917				
正職員従事時間×人数		時間×人	184 × 1	260 × 1	184 × 1	204 × 1	184 × 1	204 × 1				
正職員以外の人件費		千円	12	61	12	150	12	150				
その他費用C		千円	48	71	48	71	48	71				
トータルコストA+B+C		千円	976	1,478	896	1,415	894	1,415				
単位あたりコスト		千円/ 人		82		71		71				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	630401市町村栄養改善事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成8年度 から		特になし。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		
健康づくりを担うボランティアとして、食生活改善推進員を養成する必要があったため			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？			
変化していない		変化し	
変化している		食育基本法、食育基本計画の策定、特定健診・特定保健指導が開始された	

3 評価(SEE)	目的 妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			自治事務	根拠法令	健康増進法、食育基本法	
				この事務を行う根拠又は理由	食育推進基本計画の中で、食育活動の担い手として役割が明記されている	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	養成教室の中で推進員活動を体験する場を設け、推進員と共に活動することで、活動への意欲を高める。
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	健康教育事業 ある ない
	効率性	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)		ある ない		内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	受益者がいない	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	食育基本法第22条第2項には食育の推進にかかわるボランティアの重要性がかかれており、食育推進基本計画の中でも食育の推進にかかわるボランティアの数の増加や、食生活改善推進員等のボランティアが行っている健康づくり活動を推進することなどがあげられていることから、さらに幅広く活動できる食生活改善推進員を養成していく。					